播磨リビング新聞社 × ジェイ教育セミナー 教育座談会

高校受験でつまづかない！ カギを握る中学での過ごし方

写真左から、ジェイ教育セミナー 取締役 教務部長・長谷川晃一先生（文系担当）、読者・寺田祐子さん、小林まゆさん、安室校副校長・大竹晋輔先生（理系担当）

小学校から中学校への進学は、子どもにとってもその親にとっても大きな変化の時期。学習面も生活面も変化が多く不安や戸惑いはありますが、中学に入学すれば高校受験はもう目の前。そこで受験に詳しい先生方に、中学での過ごし方を教えてもらいました。

《小学校で身に付けたコツコツ習慣を崩さないように意識しよう》

寺田さん 中学校に進学して生活リズムが変わると、すぐになじめるか心配です。

大竹先生 部活動が始まると帰宅時間が特に大きく変わり、宿題や学校の勉強をする時間は小学校のころと比較するとどうしても夜型にシフトします（下記表①参照）。特に入学直後の中1の4～6月は、学校や部活が始まり、テストがあり、子どももしんどい時期だと思います。これに備えて6年の終わりごろから一カ月程度、中学への準備期間として体を慣らす練習をしてみてください。

長谷川先生 運動部の場合、クラブチームに所属していると土日の一方は試合ということも多いので、隙間時間の使い方が重要になります。また、中3の夏は最後の試合に向けた練習の時期。この時期は勉強との両立が難しくなるので、それを見越して1・2年のうちから基礎固めをしっかりしておきたいですね。学校の部活動だとノー部活デーもあるので、勉強時間の確保は比較的しやすいかと思います。気を付けたいのは引退時期。部活によって異なりますが、部活が忙しくて「中3の夏休みに受験勉強ができない…」なんてことも。事前に、卒業を控えた3年の先輩などに情報収集をしておくといいですよ。

小林さん 中学校に進学すると宿題がほとんど出ないので、計画的に勉強しないとですね。

長谷川先生 試験の数週間前に範囲表を渡され、大量の課題が出る学校もあります。試験範囲が出てから課題に取り掛かると間に合わない場合も。できれば中1のうちから小学校で身に付けた習慣を維持して、学校で習った内容はその週にワークなどをやっておいたほう

がいいです。毎日少しずつでもいいので進めて、範囲表が出たときには試験範囲の7～8割は終わっているのが理想です。全科目が難しければ、英語と数学だけでも大丈夫です。

大竹先生 課題の丸付けも自分でやると思いますが、答えだけを写して解き方をしっかり理解していない子も多いです。一カ月に一度でもいいので、こっそりワークを見て親御さんがチェックしてください。

寺田さん 小学校のうちにやっておいた方がいいことはありますか？

長谷川先生 勉強の習慣付けは進学前にしておけるといいですね。まずはスタートする時間を決め、その時間には必ず机に向かうこと。ダラダラ続けることや、ながら勉強はやめましょう。年齢的にまだ集中力が長く持たないので、タイマーで時間を計って、「20分やったら5～10分休憩」と時間を区切るのも有効です。また、スケジュールはタイトにせずに幅を持たせて設定すること。そうしておくと、計画が崩れても立て直せる余裕が生まれます。

《教科書の小改訂でこれまでの学習内容と大きな変化が》

小林さん 今年は小学校の教科書改訂（小改訂）がありましたが、どのように変わったのでしょうか。

大竹先生 算数で注目したい変更点は5年で学習する「歩合（%・割合）」です。これまでの教科書では歩合が本文になく、授業で扱わない学校も多かったのですが、新教科書では必修内容として本文に入っています。つまり今の6年が中1になったとき、授業で習っていない内容が習った前提で出てくるということです。中学になるとさらに「a割」などのように割合を変数にした問題も出てくるので、概念を理解していないと苦労します。小5は特に今後につながる大切な単元がたくさん登場する時期。この時期に習う内容は今後の学習の礎になります。（下記表②参照）

寺田さん 英語の教科書は会話が中心ですね。

長谷川先生 小学校の英語学習は、「聞く」「話す」といった英会話が重視され、文法に関しては学習目標にはなっていません。しかし、中学校の教科書では最初のユニットでbe動詞（例「I am」）と一般動詞（例「I like」）が混在しています。これは「この内容は小学校で学習を終えていて、ここでは確認しているだけ」ということです。冠詞「a」「an」や、複数形「s」「es」などの使い分けのルールも、すでに習ったものとして解説なく書かれています。塾に初めて来る子どもで最近とても多いのが、英語が苦手な子。冬休みにはいろいろな塾で短期講座を実施しているので、進学する前にそれらを利用して少し整理しておくと安心です。単語は中1で習う数が一番多く、一回の試験範囲に150～200語が含まれます。少し大変ですが、単語は1年のころから少しずつ勉強しておいてください。中1の間に最低でもbe動詞と一般動詞の区別だけはつくようにしたいです。

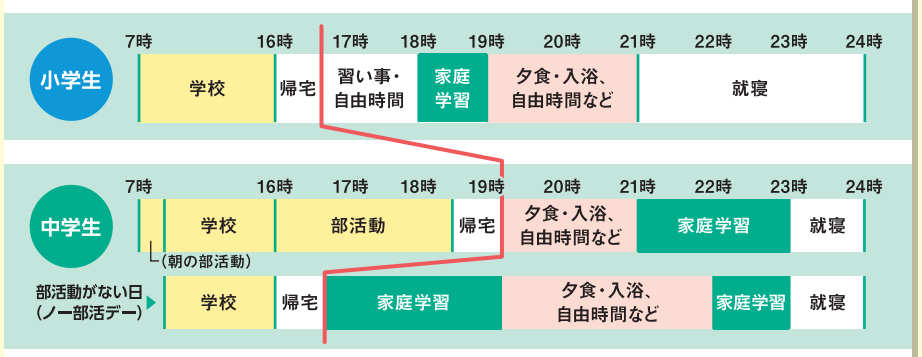
小林さん 自分たちのころとは問題の傾向が大きく変わっています。

長谷川先生 そうなんです。今年4月の中1の実力テストで、社会の平均点は30点程度。非常に難易度が上がっていました。今までと何が違うかというと、一問一答ではなくて図表を使った読解力が問われる問題になっているという点。入試の傾向として、理社は図表問題の比重が高くなっています。さらに、一つの表から一つの問題ではなく、複数のデータから答えを導き出すものが増えているのが目立ちます。これを見ると、暗記ではなく思考力が重視されていると思うかもしれませんが、そもそも基本的な知識が頭に入っていることを前提に問題が作られているんです。そのために、小学生のうちに少なくとも各都道府県の場所と県庁所在地、できれば大きな川や山脈、日本周辺の国の場所は定着させるようにしたいですね。

小林さん 高校再編の情報も気になります。

大竹先生 10月後半には、姫路南・網干・家島高校が統合の姫路海稜高校（仮）や、福崎・夢前高校が統合の播磨福崎高校（仮）の定員や推薦入試の募集の発表があります。これが分かれば学校のレベルが徐々に分かってきます。さらに2026年度には市立高校の統合が予定されています。こちらは詳細がまだ発表されていないですが、今後の動向に注視してください。

表① 小学生と中学生の生活リズムの違い



中学生になると、部活動がほぼ毎日となり、帰宅時間が小学生の頃より2～3時間遅くなります。その分、就寝時間も遅くなりがちなので、効率よく時間を使って過ごしましょう。

表② 正しい順序で計算できますか？

＼倍数と約数の関係が分かっているかをチェックしましょう／

$\frac{1}{4}+\frac{1}{6}=\square$

解き方

$\frac{3}{12}+\frac{2}{12}=\frac{5}{12}$

Point 最小公倍数12を分母にして計算

$0.25+\frac{1}{3}=\square$

解き方

Point 0.25を分数に変える

$\frac{\cancel{25}^{1}}{\cancel{100}_{4}}+\frac{1}{3}$

$=\frac{3}{12}+\frac{4}{12}=\frac{7}{12}$

最小公倍数で通分していないと、最後の約分のタイミングでミスをすることが多いです。これが定着していないと、解くスピードが遅くなり正答率も下がります。

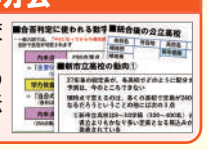
新中1進学準備
第4学区 小学校内容総復習 無料
小6テスト会
11/17（日）
9:45～15:15
（軽食をご用意します）

算数（40分）、国語（40分）
理科（25分）、社会（25分）、英語（25分）
集約会場 花北本校・西飾磨校・龍野校
※ジェイ各校から会場までのシャトルバスを運行（一部の校舎を除く）
●小学校で学習した範囲の中から必須項目を精選！
●出題項目別に到達度を判定、課題提起！
●テスト後は、中学準備のための「オリエンテーション」を実施！

研ぎ澄ませ「感性」・鍛え抜け「実現力」・積み上げろ「実体験」
さあ、始めよう「自分磨き」!!

2024年も終盤を迎えつつありますが、いまだにコロナ禍による学校休校等の影響が生じています。小学算数で身につけなければいけない『計算力』が不十分となり、中学数学においても正しく解答を導き出せない生徒が増加しているようです。また、1人ひとりの定着度合の差も大きくなっていることが伺えます。加えて中学英語では、2021年4月からの指導要領の改訂で、学校教科書で扱う単語数や文法項目が増加、会話表現から学ぶように構成されているため、お子様の負担が大きくなっています。しかも中学生になると、部活動、生活習慣の変化、さらには定期期考査の勉強も加わり、小学内容の復習に充てる時間はなかなかとれません。
新学年の準備が本格化する冬前に、小学校内容を基本から振り返り、各単元の定着度合を確認し、「今の自分」を知るための機会にしてください。

中学準備・高校統合説明会
11/17（日）
時間帯はお問合せください
「公立高校の入試制度」や「高校統廃合の概要」と「予測される変化」、「中学進学に向けてのジェイの取り組み」などもお伝えいたします。



受講生特典
学習懇談会を実施
12月平常授業 無料 諸経費2,800円（税込）
11・12月平常授業用 教材費無料
冬期講習会 授業料半額（一斉授業）
お申込みはこちら

小3→小5 ジェイの特別体験講座 無料 11/21（木）～27（水）
小3→中3 冬期講習生募集 12/25（水）～1/6（月）
入会金無料 子育て支援兄弟割引

2024年春 合格実績 j単独 他塾との提携一切なし
西・東合格者数 26年連続学区No.1
姫路西高 132名 うち推薦入試 24名 定員280名
姫路東高 111名 うち推薦入試 59名 定員280名
龍野高校 61名 市立姫路 63名
姫路飾西 38名 相生高校 28名
県立大附属 18名 明石高専 7名
神戸高専 8名 他 多数合格
重要 合格者数に、テスト生・講習会生・途中退塾生は含んでおりません。

志望校トップ合格をめざす
j教育セミナー
お申込み・お問合せは ココイク イチバン
0120-5519-18
受付：午前9時～午後10時（日・祝も受付）
WEB. https://www.js-educe.co.jp/ MAIL. benkyo@js-educe.co.jp